

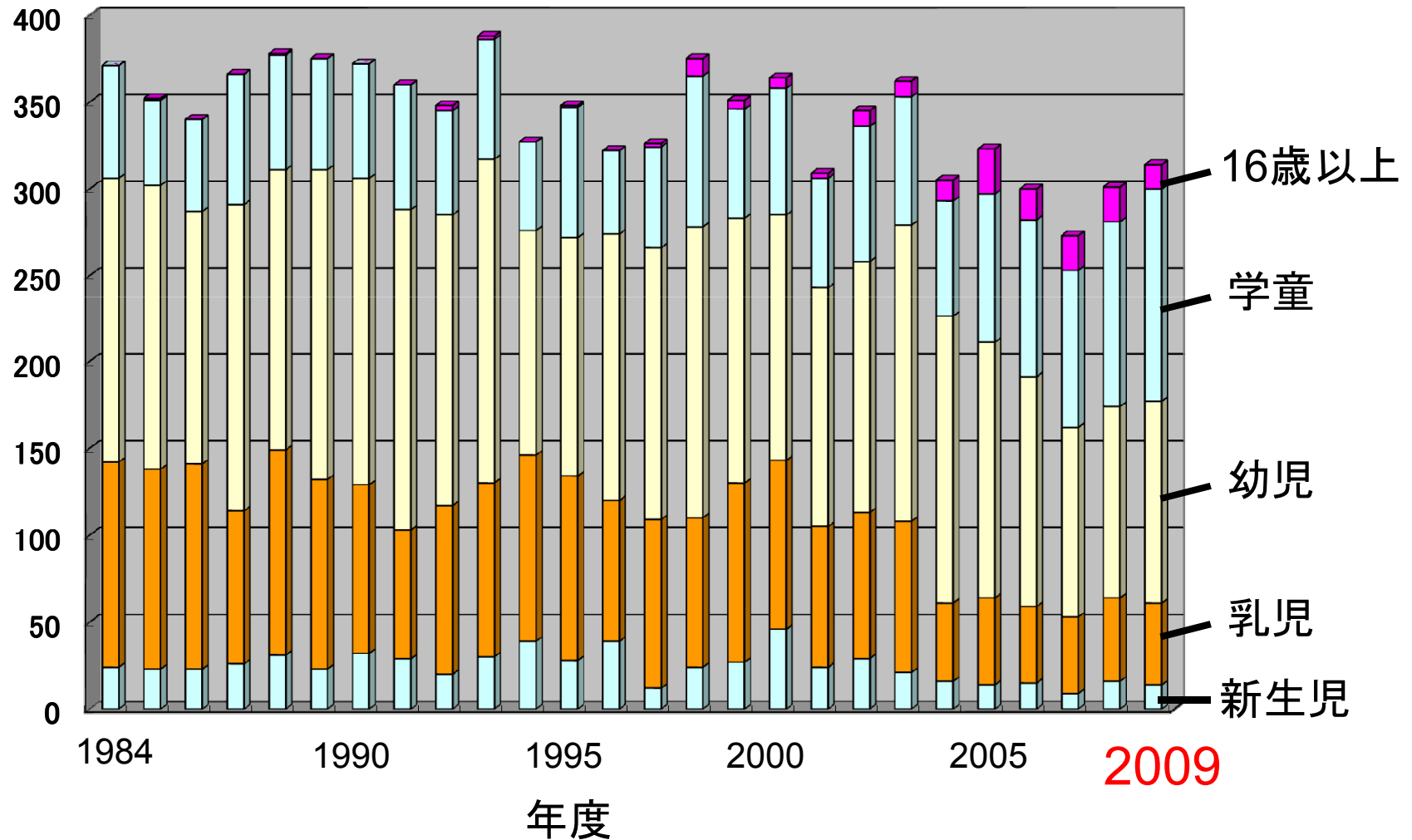
2009年度手術症例

- ・ 対 象 : 2009年4月1日～2010年3月31日
(全身麻酔下の検査・処置症例を含む)
- ・ 総手術件数 : 314件 [緊急 : 52件 (16.5%)]
- ・ 年齢分布

新生児	14件	(4%)
乳 児	47件	(15%)
幼 児 (2～5歳)	116件	(38%)
学 童 (6～15歳)	123件	(39%)
16歳以上	14件	(4%)

年間手術件数と年齢分布の推移

手術件数



新生児症例

疾患名	症例数	手術(症例数)
十二指腸閉鎖症、 腸回転異常症	1例	十二指腸十二指腸側々吻合術＋ ラッド手術、虫垂切除術(1)
腸回転異常症	2例	ラッド手術、虫垂切除術(2)
腸回転異常症疑い	1例	試験開腹術(1)
直腸肛門奇形(低位)	2例	会陰式肛門形成術(2)
同(高位、中間位型)	3例	人工肛門造設術(3)
処女膜閉鎖症	1例	処女膜切開術(1)
横隔膜ヘルニア	2例	胸腹裂孔閉鎖術(1) パッチによる胸腹裂孔閉鎖術(ECMO下)(1)
精巣捻転	1例	捻転精巣摘出術(1)
未熟奇形腫(上顎洞原発)	1例	腫瘍生検、気管切開、胃瘻(1)

症例：生後8日 女児

現病歴

妊娠後期：胎児超音波検査嚢胞あり。(φ3cm)

生後8日：下腹部の膨瘤が増大したため紹介

超音波検査

部位：下腹部から骨盤腔を占居

嚢胞サイズ：6×5×5cm

MRI

部位：膀胱を左側に圧排し、骨盤腔に存在

性状：内部均一な嚢胞性腫瘍

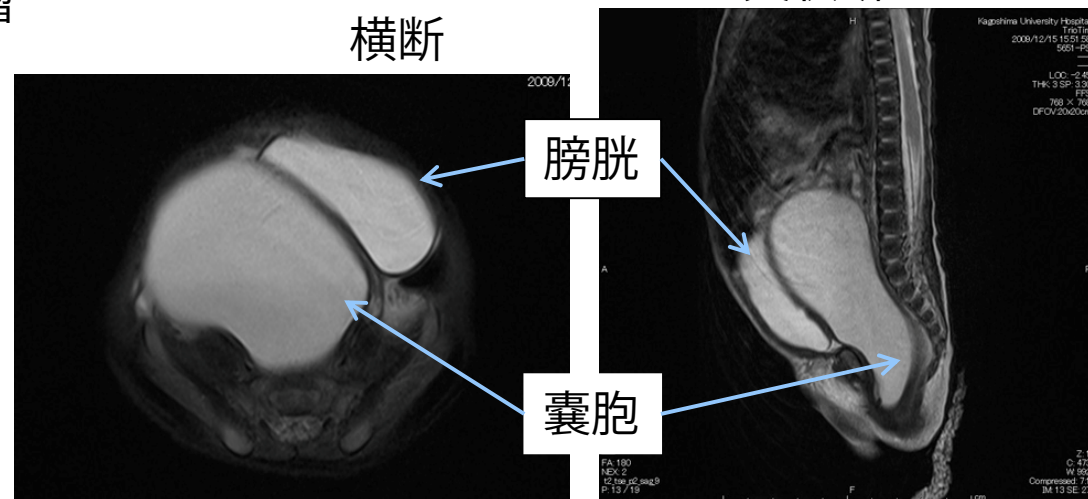
超音波検査



MRI

矢状断

横断



手術



十字切開後に、腔内にバルーンを挿入して牽引しながら膜を切除し、断端を5-0バイクリルにて縫合した。

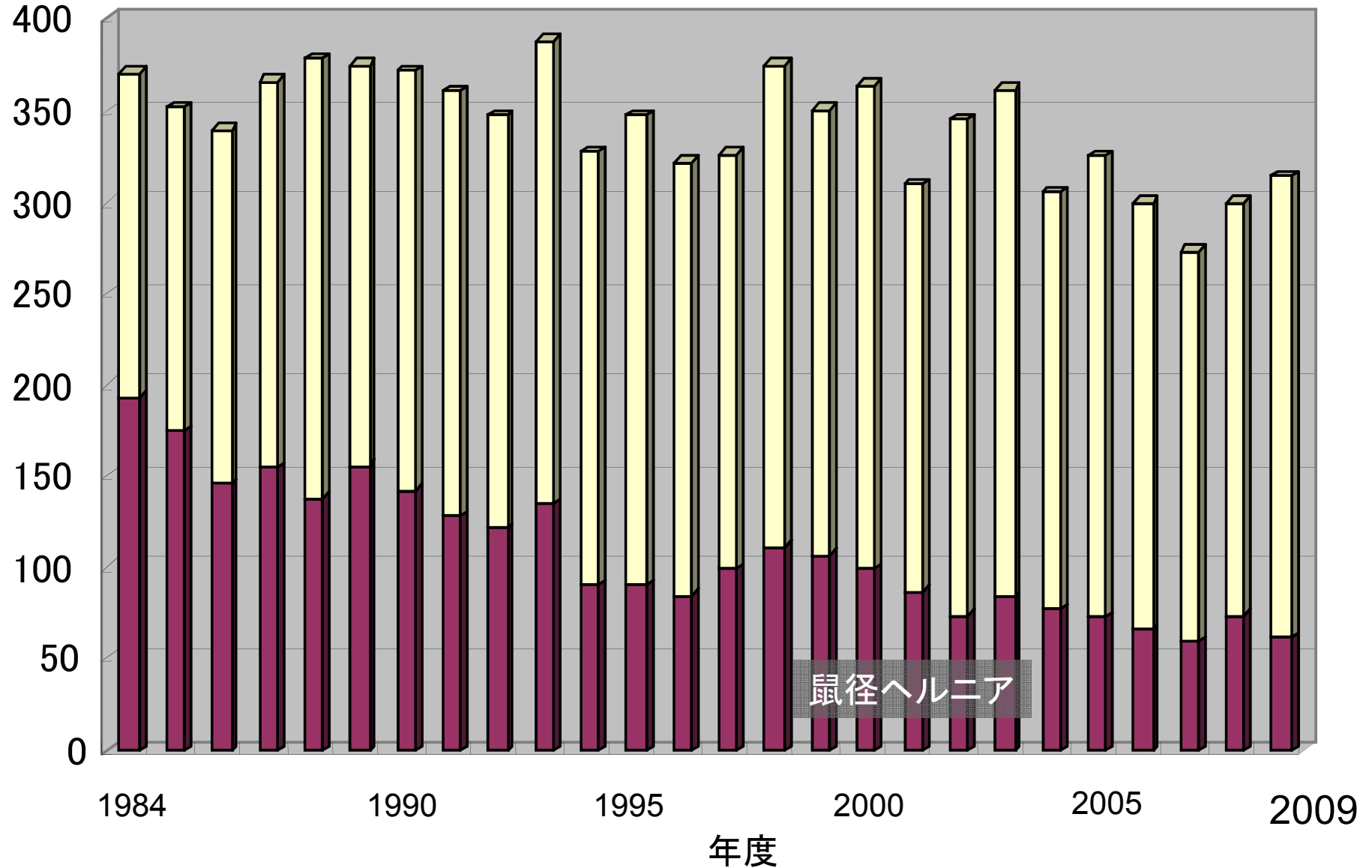
外鼠径ヘルニア・停留精巣・臍ヘルニア

病名	乳児	幼児	学童	計
外鼠径ヘルニア	11	40	11	62*
停留・移動精巣	0	15	4	19
臍ヘルニア	0	6	1	7
計	11	61	16	88

* : 17例は腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術

年度別手術件数と鼠径ヘルニアの推移

手術件数



胸・腹腔鏡(補助)下手術症例

疾患名	手術	症例数
腹腔鏡(補助)下		
急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	12例 *
胃食道逆流症	腹腔鏡下噴門形成術	1例
横隔膜傍裂孔ヘルニア	腹腔鏡下傍裂孔縫縮術	1例
胆石症	腹腔鏡下胆嚢摘出術	1例
腸間膜リンパ管腫	腹腔鏡補助下生検	1例
単径ヘルニア	腹腔鏡下単径ヘルニア根治術	17例
胸腔鏡(補助)下		
漏斗胸	胸腔鏡補助下 胸骨挙上術(ナス法)	3例
非定型抗酸菌症	胸腔鏡下腫瘍生検	1例

* : Interval appendectomy 2例

胆道系疾患

胆道閉鎖症

日齡	性	病型	手術	減黄	bile lake	備考
62D	M	Ⅲ	葛西手術	+	+	PTCD、肝空腸再吻合術
53D	F	Ⅲ	葛西手術	+	+	PTCD
52D	F	Ⅲ	葛西手術	+	—	
88D*	F	I	葛西手術	+	—	
52D*	F	I	葛西手術	+	+	PTCD

* : 出生前診断症例

胆道拡張症

年齢	性	拡張形態	手術術式
2Y	F	紡錘状	拡張胆管切除、肝管空腸吻合術

ヒルシュスプルング病

	年齢	性	移行帯	術式	備考
1	3M	男	S状結腸	経肛門的根治術	父 H病
2	5M	女	S状結腸	経肛門的根治術	母 H病

直腸肛門奇形

性	病型	手術	(手術時年齢)
1 男	低 (covered anal stenosis)	会陰式肛門形成術	(5D)
2 男	低 (covered anal stenosis)	会陰式肛門形成術	(8D)
3 男	低 (肛門皮膚瘻)	会陰式肛門形成術	(2M)
4 男	低 (肛門皮膚瘻)	会陰式肛門形成術	(4M)
5 女 *	中 (anal agenesis)	人工肛門造設術	(0D)
6 男 *	中 (anal agenesis)	仙骨会陰式肛門形成術 (人工肛門造設後)	(1Y)
7 男	高 (直腸尿道瘻)	人工肛門造設術	(1D)
8 男	高 (直腸尿道瘻)	仙骨会陰式肛門形成術 (人工肛門造設後)	(7M)
		人工肛門閉鎖術 (根治術後)	(11M)
9 男	高 (直腸尿道瘻)	人工肛門閉鎖術 (根治術後)	(1Y)

* : ダウン症候群

固形腫瘍

年齡	性	疾患名(原發部位)	手術	
1	1M	男	神經芽細胞腫(仙骨前)	腫瘍生檢、人工肛門造設術
2	1Y	男	神經芽細胞腫(右副腎) stage IV	腫瘍摘出術(化學療法後)
3	1Y	女	神經節芽腫(後縱隔) stage IV	腫瘍摘出術
4	8Y	男	神經芽細胞腫(右副腎) stage IV	腫瘍生檢
<hr/>				
5	7D	女	未熟奇形腫(上顎洞)	腫瘍生檢、氣管切開、胃瘻造設
6	13Y	女	未熟奇形腫(右卵巢)	腫瘍摘出術
7	15Y	女	成熟奇形腫(左卵巢)	腫瘍摘出術
8	13Y	女	粘液性囊胞腺腫(左卵巢)	腫瘍摘出術
9	13Y	女	褐色細胞腫(左副腎)	腫瘍摘出術(副腎溫存)
10	16Y	女	Solid & cystic tumor(胰)	播種腫瘤摘出術

症例：16歳 女性

現病歴

11歳：ドッジボールが腹部にあたり、腹部外傷のため近医へ緊急搬送された。腹部CTにて、腹部腫瘍と腹腔内出血を認めたため緊急開腹術を施行された。

術中所見

膵体尾部の腫瘍破裂

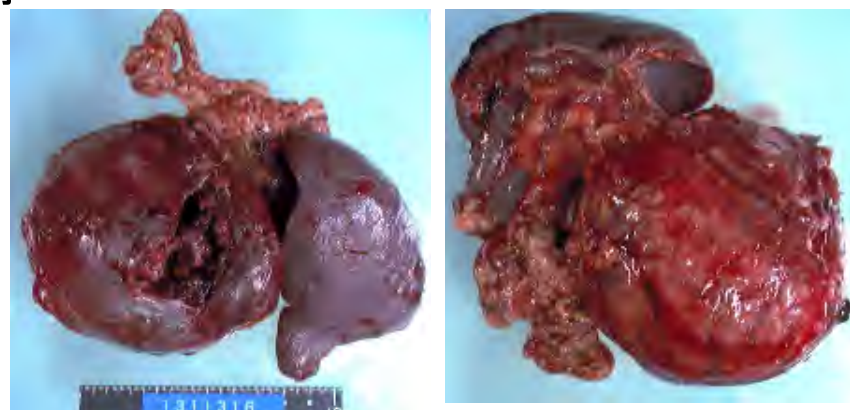
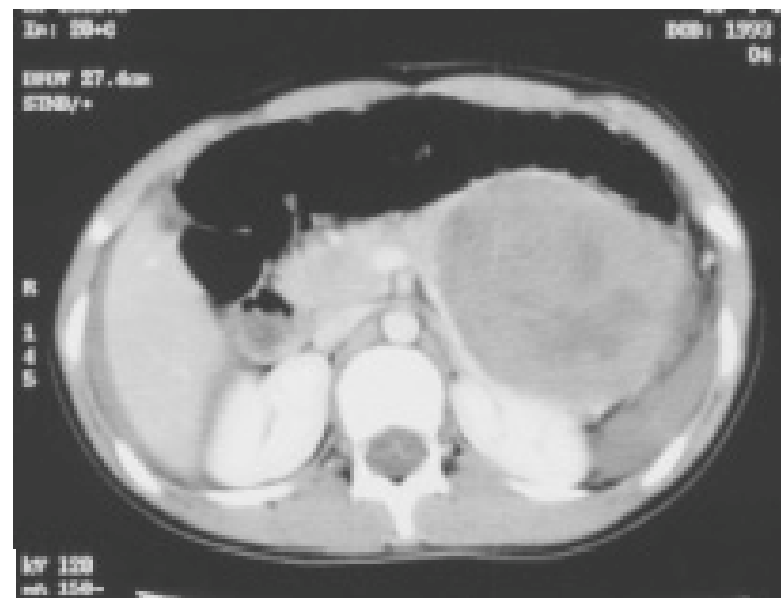
→膵体尾部切除＋脾臓合併切除術

病理所見

腫瘍サイズ：9×6×5cm

Solid and cystic tumor

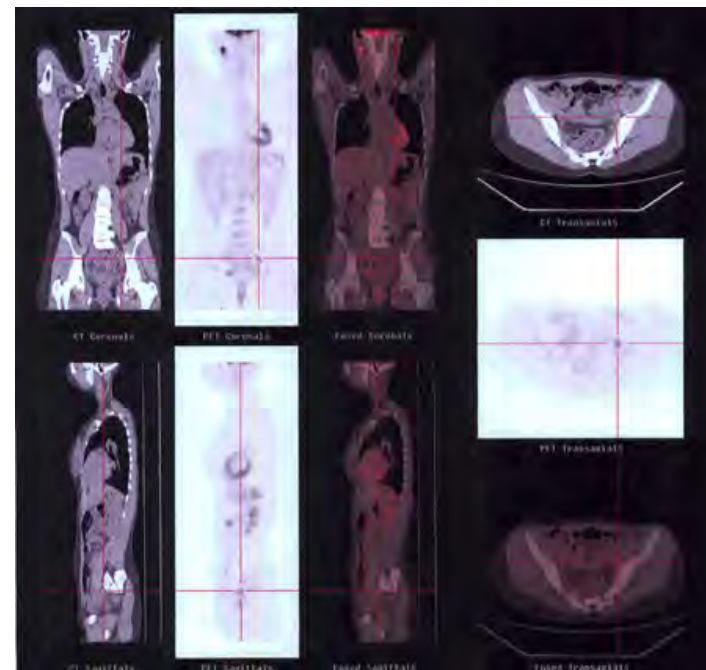
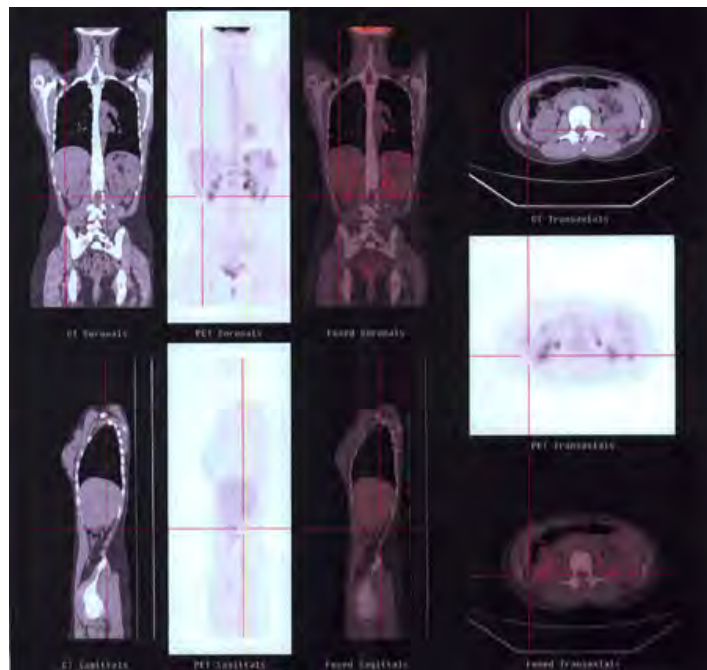
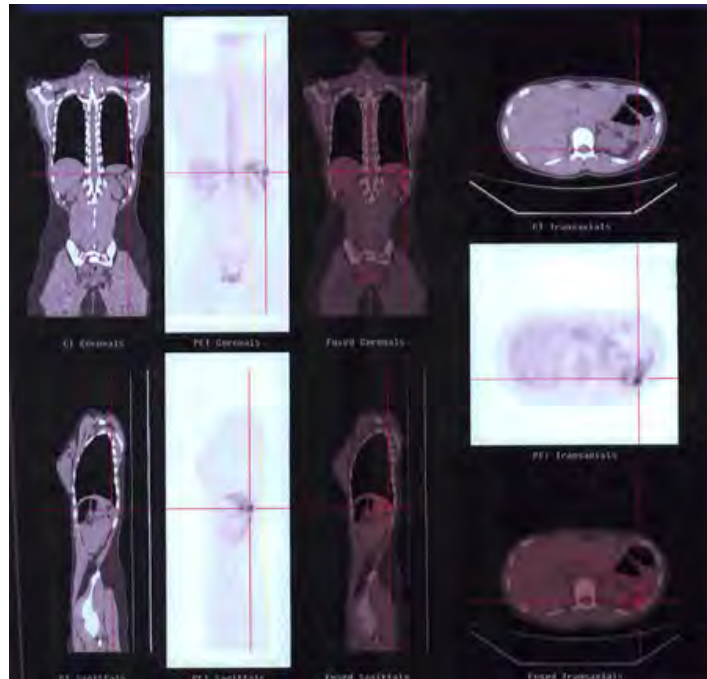
切除断端はnegative



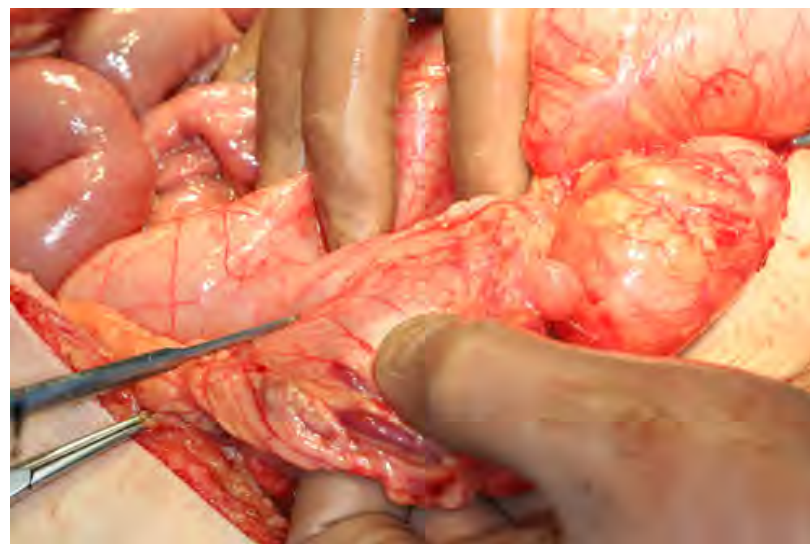
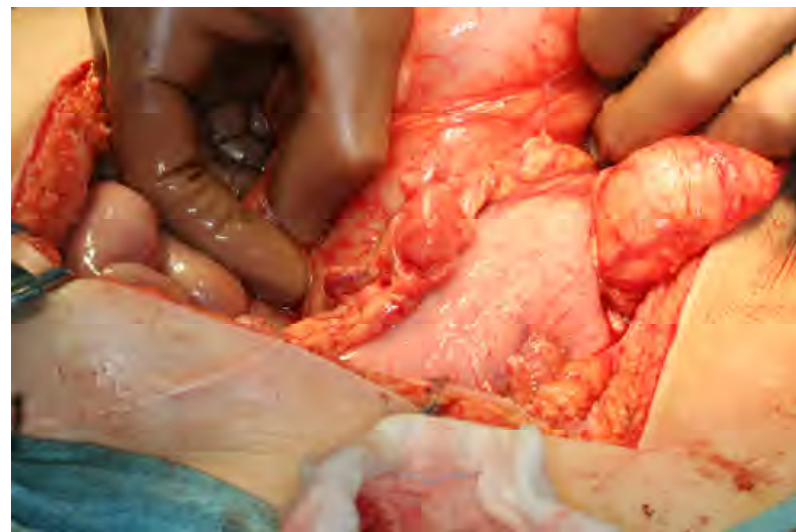
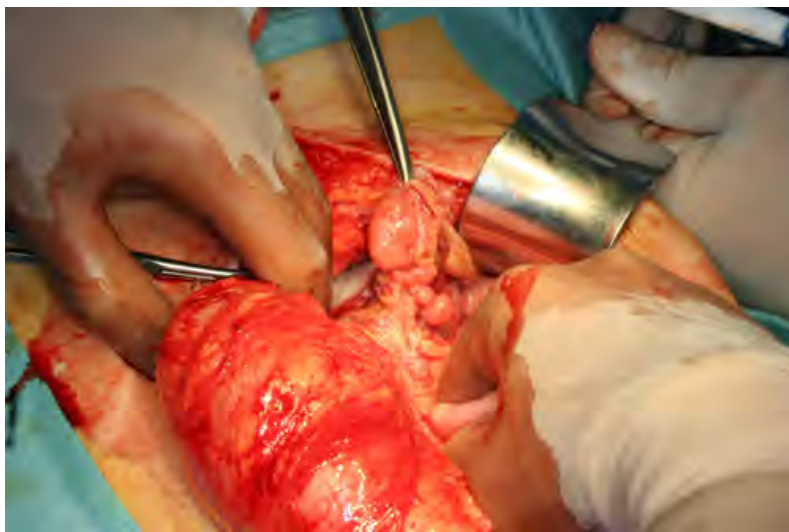
術後画像による経過観察

→腹腔内播種像を認めたため紹介された。(術後4年目)

PET所見



術中所見



その他の疾患

年齢	性	疾患名	手術	
1	1Y	女	十二指腸部分拡張症	拡張十二指腸部分切除・形成術
2	1Y	女	食餌性イレウス	閉塞回腸(15cm)切除、端々吻合術
3	1Y	女	膀胱腸裂、短小腸	STEP、Re-STEP
4	4Y	男	十二指腸潰瘍穿孔	穿孔部縫合閉鎖・大網被覆術
5	15Y	女	潰瘍性大腸炎、盲腸穿孔	大腸亜全摘、人工肛門造設術

症例：1歳 女児

現病歴

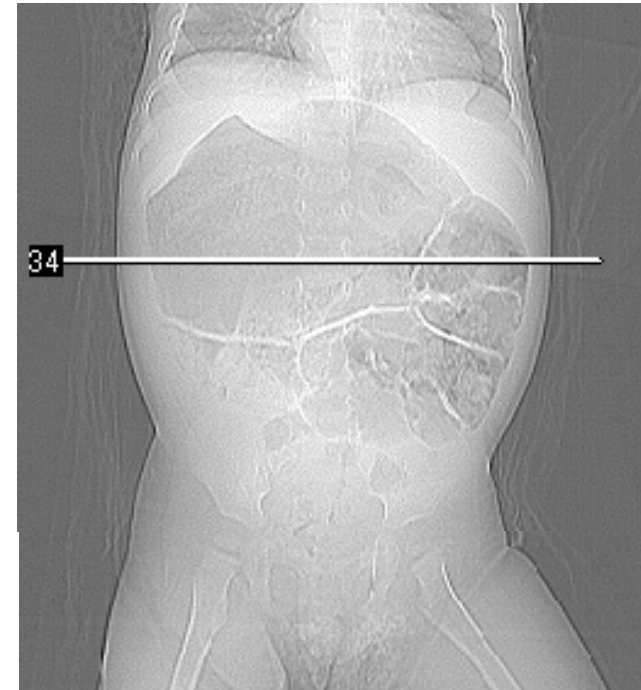
生来健康

1歳半検診：腹部膨満あり

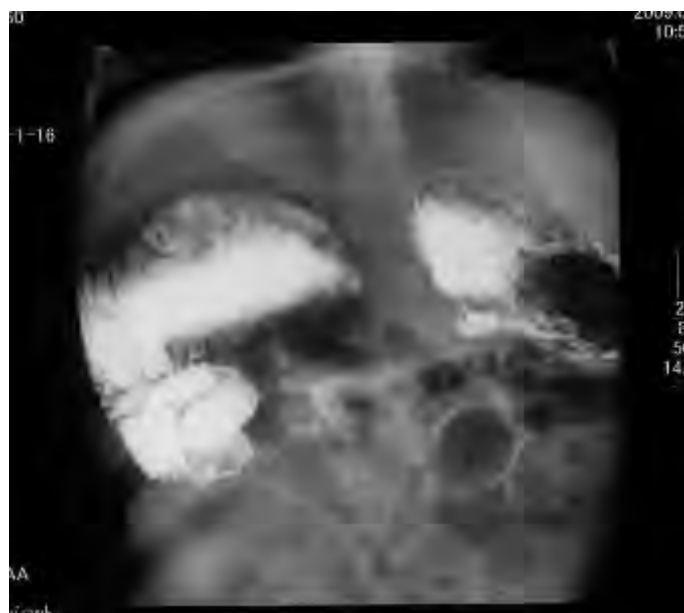
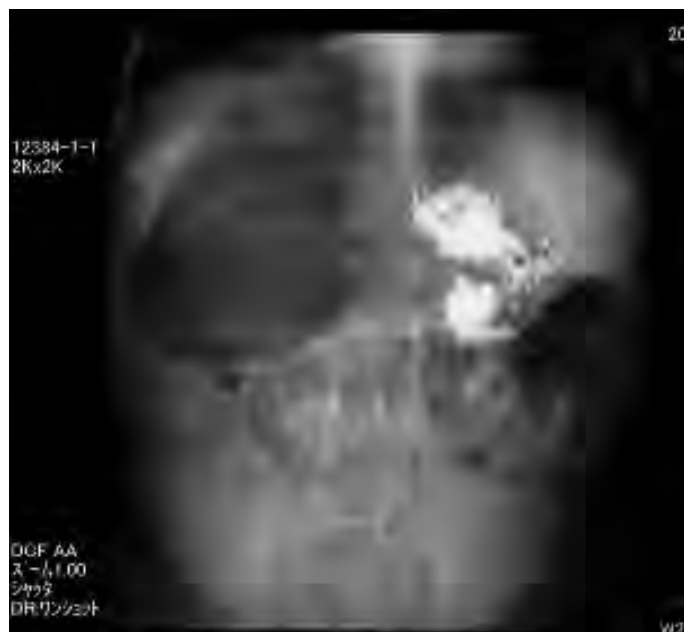
腹部レントゲン写真：拡張した腸管
ガス像あり。

腹部CT

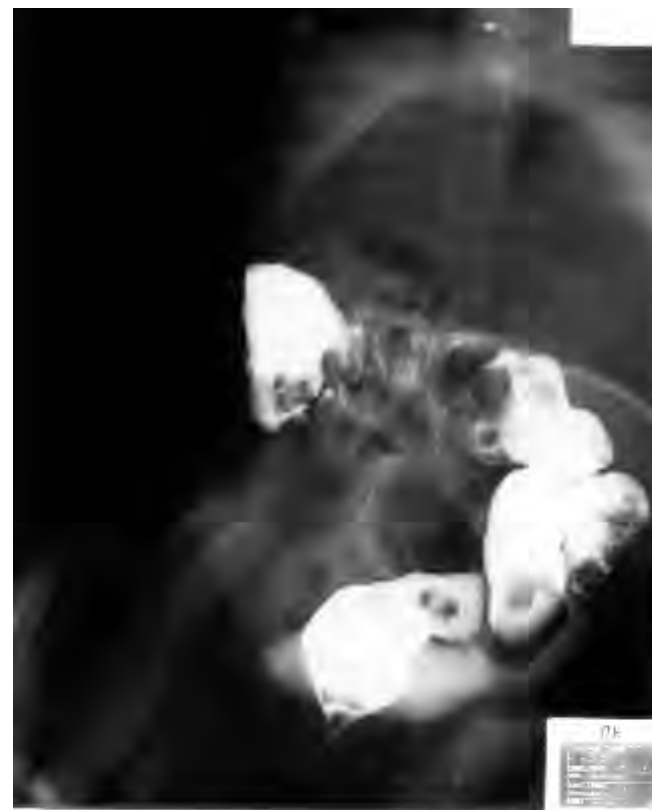
拡張した腸管を認める。
部位は同定できず。



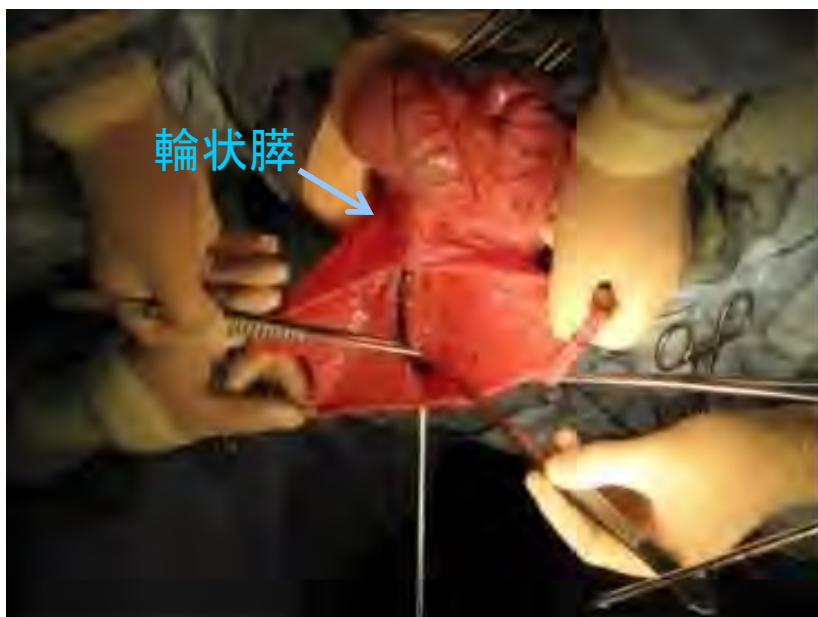
上部消化管造影



注腸造影

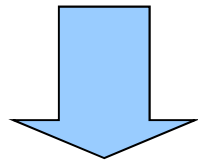


術中所見



症 例

在胎30週 1618g、双胎第1子として出生。
臍帯ヘルニア、膀胱腸裂を認めた。
後腸切除、膀胱瘻造設、空腸瘻造設した。
残存小腸23cm



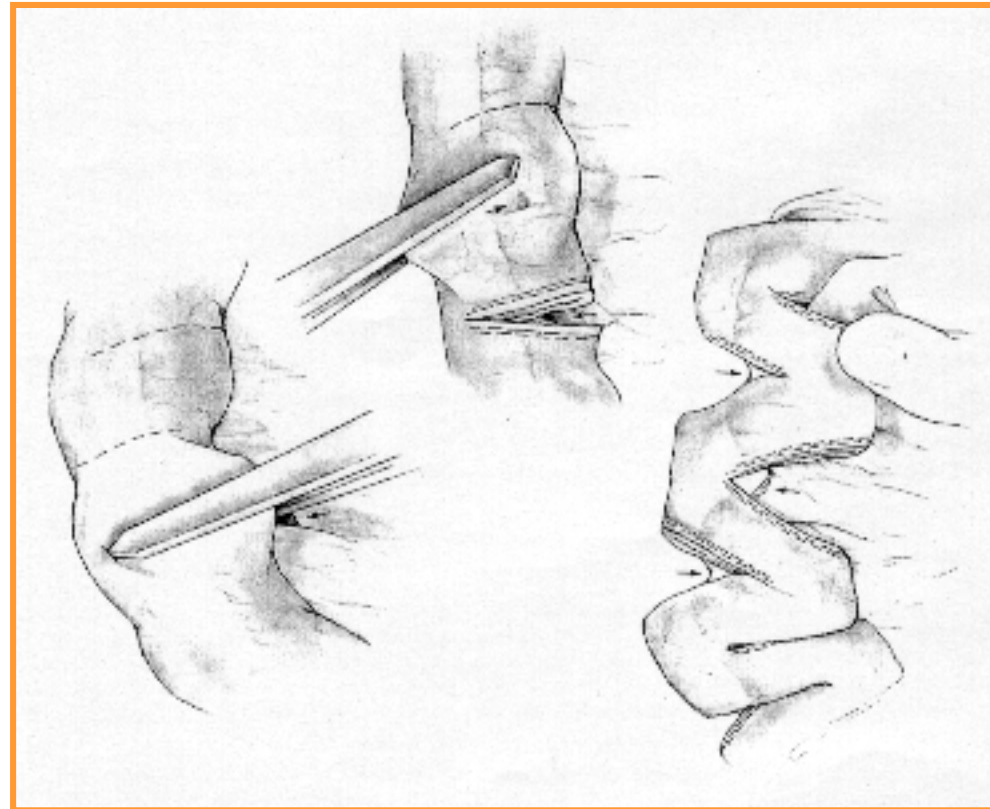
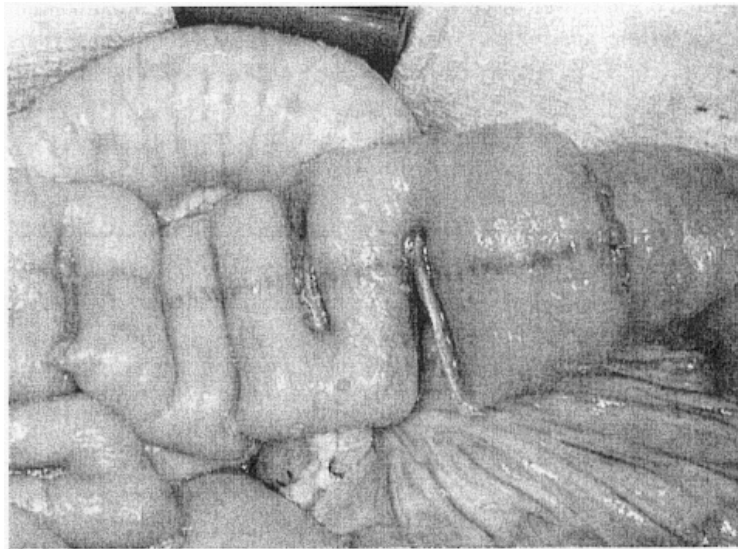
静脈栄養管理



出生時外観写真

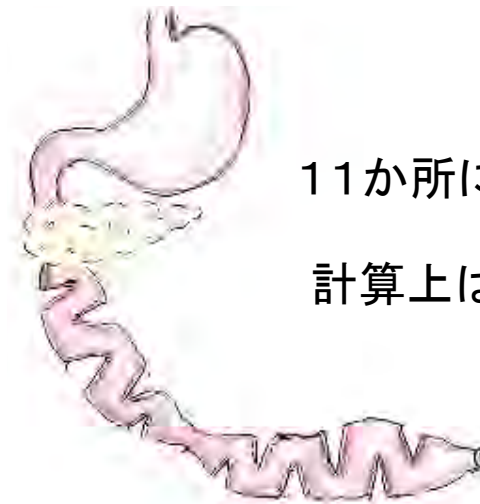
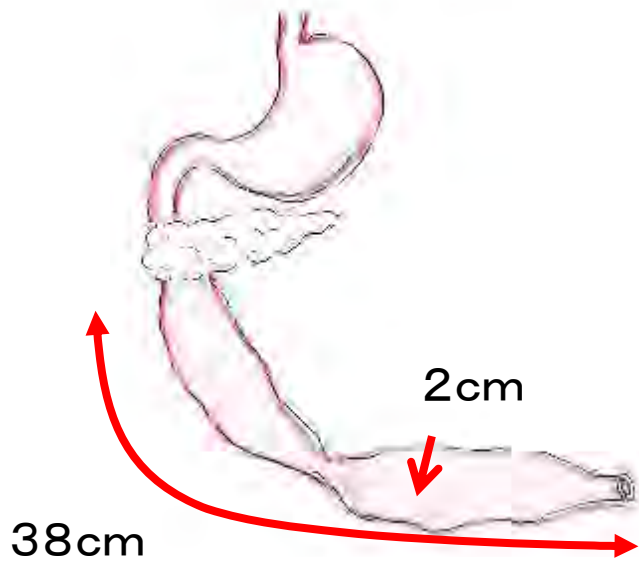
Serial transverse enteroplasty (STEP)

腸管延長手術



**Kim HB et al : Serial transverse enteroplasty (STEP)
a novel bowel lengthening procedure.
JPS 38(3),425 - 429:2003**

手術(1歳1ヵ月時)



11か所にGIAをかけた。
計算上は75cmに延長

腹部レントゲン写真

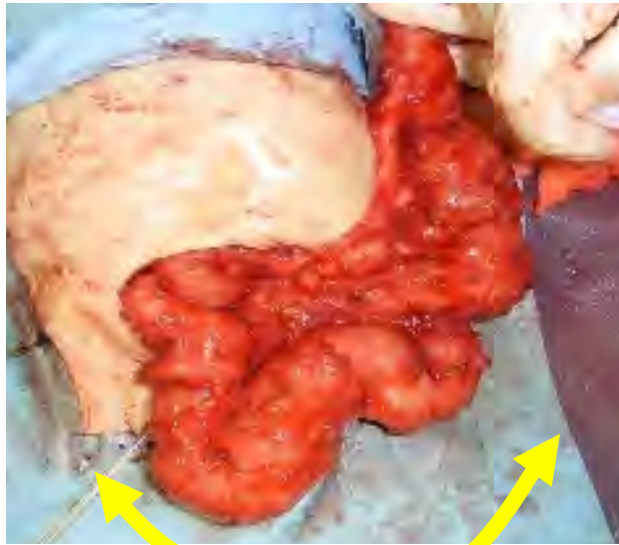


術後2ヶ月目

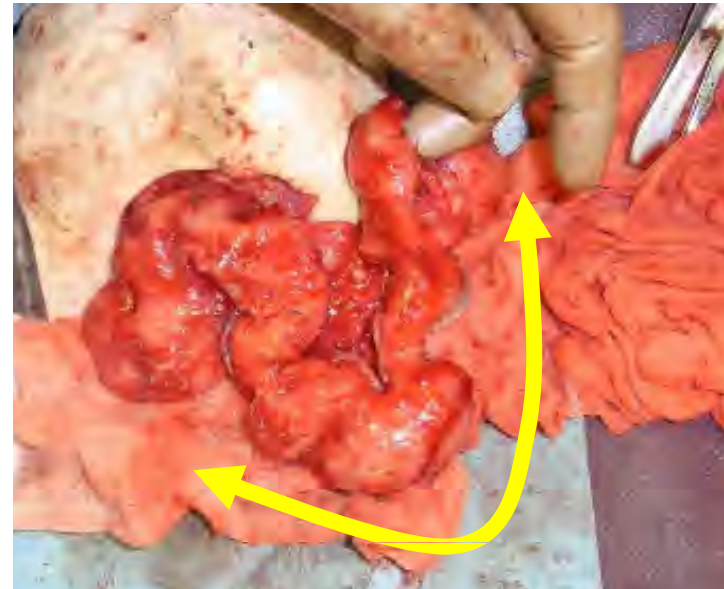


術後7ヶ月目

ReSTEP手術(1歳9ヵ月時)



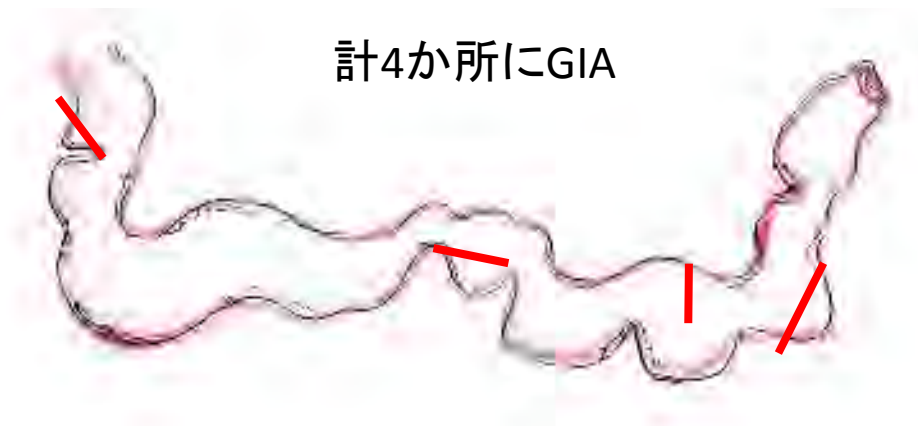
直線化



ZigZagパターン



計4か所にGIA



症例: 15歳 女児

現病歴

14歳8ヶ月: 血便、腹痛あり。

15歳2ヶ月: 内視鏡検査にてUCと診断された。

→ペンタサ開始

発熱・下痢を認め、当院内科へ入院した。

入院後大腸内視鏡検査



→所見の改善が得られず。
顆粒球除去療法(GCAP)、プレドニン開始

下血が次第に悪化、貧血が進行するため
大腸内視鏡検査を施行した。

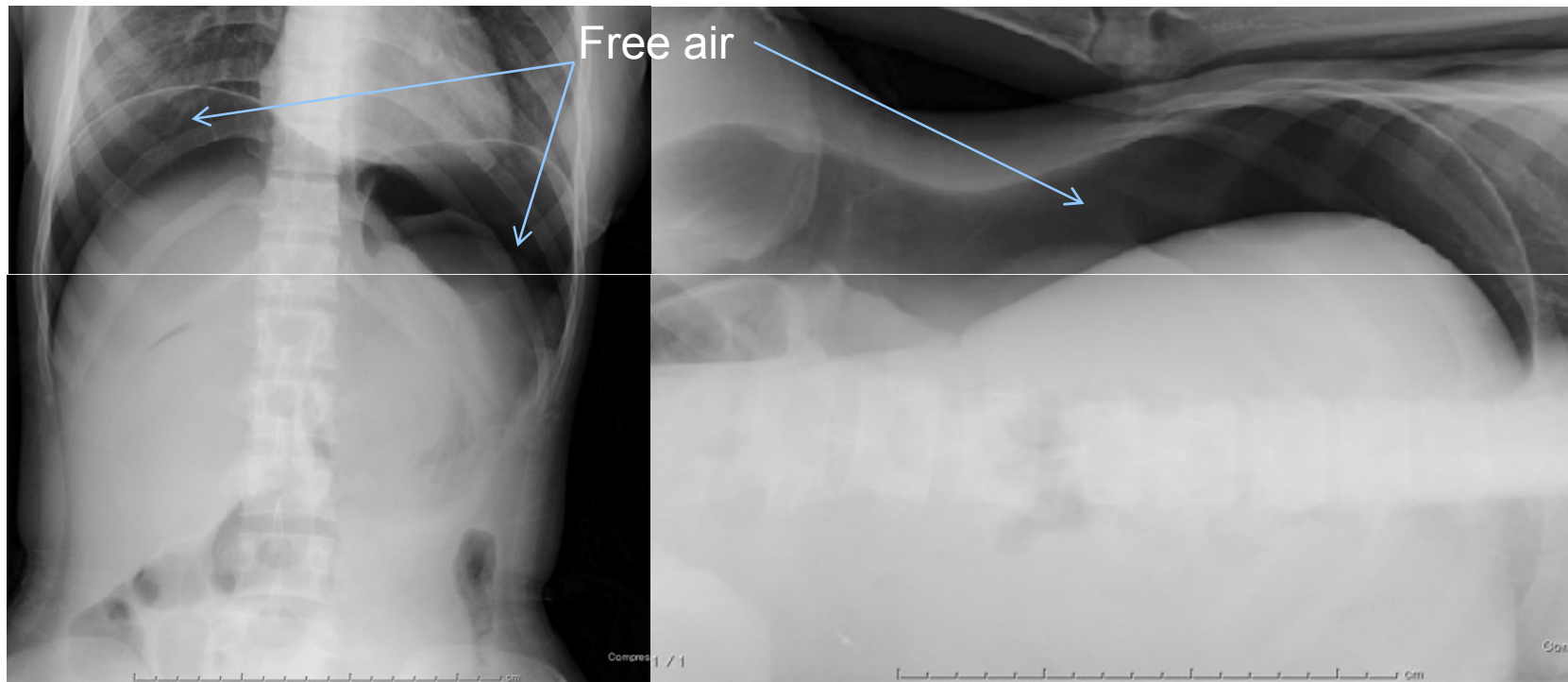
貧血進行時の 大腸内視鏡検査



腹部レントゲン写真

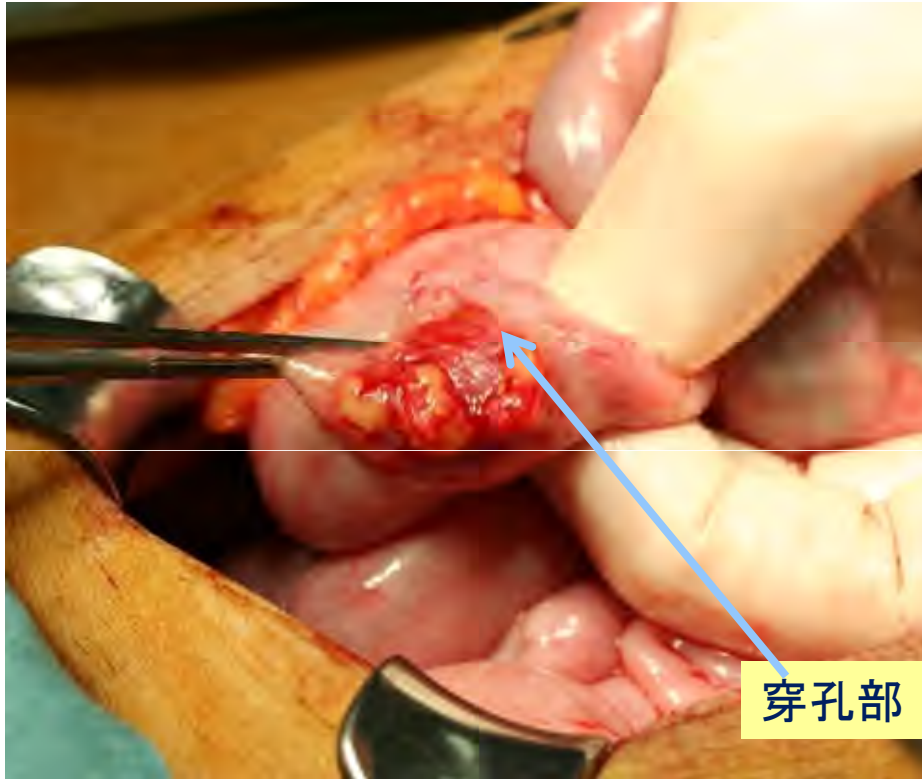
座位

左側臥位

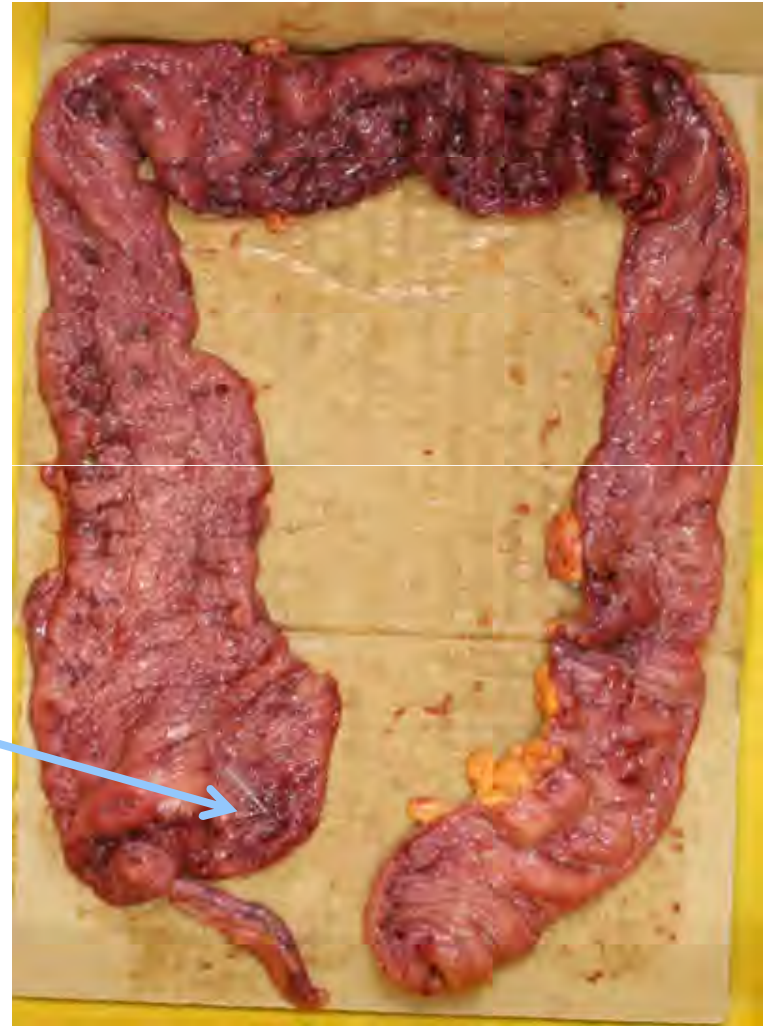


消化管穿孔

術中所見



摘出標本



手術：結腸全摘、回腸瘻造設術

中心静脈カテーテル挿入

2009年6月よりエコーガイドによる手技を導入

総数	83回
手技	
カットダウン法	19回
ランドマーク法	15回
エコーガイド下	49回
留置血管	
内頸静脈	47回
鎖骨下静脈	17回
外頸静脈	15回
腋窩静脈	4回